



2) 「だれが」「何を」などを問う

◆「何が (～する)のか」「(～する)のは、だれか」「何を (～する)のか」「何と (～する)のか」という形で、「主語」や「対象語」などを問う問題である。次の手順で探そう。

- ・「下線部」を含む文の構造をよく見て、何を探せばいいか(何が省略されているか)ははっきりつかむ。
- ・文をさかのぼって省略されている「主語」や「対象語」などを探す。

★例題7 問いに対する答えとして最もよいものを一つ選びなさい。

いま、婦人雑誌で女性がいちばん心をとくめさせるのは、ファッションでも料理でもなく、インテリアのページだという。日本人も衣食足って、住といういちばんコストのかかる消費財にまで、手を伸ばしはじめたということなのだろうか。食べものなら、胸がむかつくほどにあふれている。タンスの中だってそれでも通さない洋服で満杯だ。あと足りないのは、暮らしを入れるハコ——絵に描いたようなマイホームだけである。

もちろん、(中略)住宅に投資できる人とできない人とは、所得階層によってはっきり分かれてくる。しかし、①インテリアは違う。家具や照明のように固定したものだけでなく、カーテン、カーペット、ルームアクセサリ、そしてプラント(観葉植物)のような可動的な室内装飾品は、ハコよりも安価に、ハコが果たすはずの夢をかなえてくれる。

(上野千鶴子『増補<私>探しゲーム』筑摩書房)

【問い】①インテリアは違うとあるが、インテリアは何とどう違うのか。次のようにまとめる場合、最も適切なものはどれか。

「インテリアは、(A)と違って、(B)。」「

- | | | |
|---|----------|-----------------|
| 1 | A: 衣服や食物 | B: まだ足りていない |
| 2 | A: 住宅 | B: コストがあまりかからない |
| 3 | A: 住宅 | B: 可動性を持つものもある |
| 4 | A: ハコ | B: 夢をかなえてくれる |

ステップ1 本文を読んで全体をつかもう

キーワード: インテリア、住、ハコ、住宅

「言い換え(比喩)」に注目する

「暮らしを入れるハコ」=「絵に描いたようなマイホーム」=「住宅」

→テーマは、住宅とインテリア?

ステップ2 問いを見て本文から答えを探そう

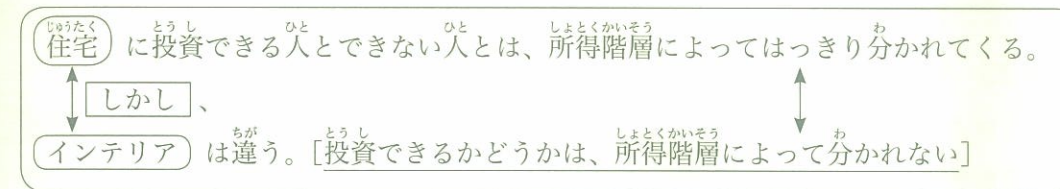
1) 「下線部」を含む文の構造を見る

「しかし、インテリアは[A何と、Bどう]違う。」
省略部分 省略部分

この文では、[]の部分省略されている。

2) さかのぼって、省略されている部分を探す

「対比」(住宅とインテリア)に注目。



つまり、インテリアは

A 何と: 「住宅」と

B どう: 投資できるかどうか所得階層によって分かれていない点

が違うとわかる。

所得階層によって分かれていないというのは、値段が安いということである。

「下線部」の後にある「ハコよりも安価に、ハコが果たすはずの夢をかなえてくれる。」からも確認できる。

ステップ3 選択肢と比べよう

- 1: 衣服や食物と比べているのはインテリアではなく、住宅である。
- 2: 正解(コストがかからない=安価)
- 3: インテリアと住宅の違いが可動性にあるとは書かれていない。
- 4: 「ハコ」が夢をかなえてくれない、とは書かれていない。

「だれが」「何を」などを問う

練習22 問いに対する答えとして最もよいものを一つ選びなさい。

裁判官の仕事は、争っている者に対してどちらが正しいかを示すということである。しかし、単にどちらかを勝たせればよいというわけではない。示す判断は、客観的な事実関係に基づいていなくてはいけない。争っている本人たちだけでなく、本人以外の第三者も納得する判断が求められる。争っている者たちは主観的な意見や生の要求をぶつけあうかもしれないが、まず冷静に「主観的な意見」と「客観的な事実」とを①区別することから始める必要があるのだ。

問い ①区別することから始めるのはだれか。

- 1 裁判官
- 2 争っている者たち
- 3 判断を求める人
- 4 本人以外の第三者

練習23 問いに対する答えとして最もよいものを一つ選びなさい。

「NO!」と言える労働者になるためには、まずは自分たちの働き方のなかに「法律違反」があるかを知り、その救済手段を知ることが第一です。今の50代、60代は会社に守られて生きてきた「知らなくて済んだ世代」ですが、今の若者たちは自分たちで生活を守らなければならない「①知らざるを得ない世代」。働くことで生活が成り立ち、将来が保障され、人生設計ができるということは、前提にはならない時代を生きています。

(湯浅誠「『NO!』と言えるビジネスマンが社会を変える」AERA Biz 2010.10.10号 朝日新聞出版)

問い 「①知らざるを得ない世代」とあるが、何を知らざるを得ないのか。

- 1 自分たちが本当は貧しいのだ、ということ
- 2 「NO!」と言える労働者になれないのだ、ということ
- 3 人生設計をするとき、何をすべきか
- 4 仕事の一部に違法性があったとき、どうすればいいか

「だれが」「何を」などを問う

練習24 問いに対する答えとして最もよいものを一つ選びなさい。

中欧を巡る八日間のテレビの仕事をしたとき、気がついたことがいくつかある。その一つは、テレビ関係者が極端なまでに「視聴者の声」を気にすることだ。

番組のなかに高名な政治評論家が登場して、ハンガリーやチェコがEU(欧州連合)に加わった意味を語る場面があった。場所はウィーンのシェーンブルン宮殿の前庭。かたわらにインタビュアー役のアナウンサーがいて質問するかたち。

政治評論家はグレーの三つ揃い、胸にハンカチをのぞかせていた。アナウンサーは赤いフードつきの厚手のヤッケ。さっそく非難が殺到した。アナウンサーのいで立ちがだらしがないというのだ。

①もったときちんとした服装を心がける。

この場合、政治評論家が“ヘン”なのだ。時は厳寒のさなかであって、気温が零下五度。しかも寒風の吹く屋外である。そこへカクテルパーティーのような格好で出てくるのがおかしいのだ。立ちどまっていたウィーン市民たちは、その異様さに目を丸くしていた。むろん、誰もが厚手のヤッケやオーバーを着こんでいた。

(池内紀『世の中にひとこと』NTT出版)

問い ①もったときちんとした服装を心がけるとあるが、これはだれが言った言葉か。

- 1 筆者
- 2 視聴者
- 3 政治評論家
- 4 アナウンサー

練習25 問いに対する答えとして最もよいものを一つ選びなさい。

人生が思うようにならないとき、私たちは、その責任を押しつけられる対象を探してしまう傾向があります。親をはじめとする周囲の人間、家庭環境、学校、会社、時代、世の中、運、学歴、容姿……それらが今の自分の不幸感に関わりがあったとしても、原因の一つにすぎないのに、すべてであるかのように思いたがるのです。

自分の能力の限界や内面の問題を認めれば、自尊心が傷つきます。問題を直視し、改善すべく努力するのはつらい作業ですし、その努力がなかなか実らなければ、さらに傷つく。それを無意識のうちに避けようとして、自分以外の誰かや今さら自分では変えようのない何かのせいにしてしまうのでしょ

うでしょう。不幸の原因を自分以外に求め、責任を押しつけることと同様に危険なのが、自己憐憫にとらわれることです。「私ってかわいそう」という思いにとらわれると、心のアンテナが内向きになります。そうして自分の苦悩にばかりアンテナを向けていると、どんどん視野が狭くなり、客観性も失われていく。自分が誰よりも不幸に思えてきて、周囲の人が抱えている痛みには鈍感になり、①人間関係にも悪影響を及ぼしてしまいかねません。

(加賀乙彦『不幸な国の幸福論』集英社)

問い ①人間関係にも悪影響を及ぼしてしまいかねませんとあるが、何をすることが悪影響を及ぼしてしまいかねないのか。

- 1 自分の能力の限界や内面の問題を認めること
- 2 不幸の責任を他人に押しつけること
- 3 心を閉ざして自分の内面を隠すこと
- 4 自己憐憫にとらわれること

コラム4 カタカナ言葉に注意

例題(「だれが」「何を」などを問う→p.40)にはカタカナ言葉がたくさん使われています。「ファッション」「インテリア」「ページ」「マイホーム」「カーテン」「カーペット」などの外来語だけではありません。例えば「タンス」。これはもともと日本語の言葉ですが、漢字が難しいこと(「箆笥」)、ひらがなだと文章がわかりにくくなることなどから、よくカタカナで書かれる言葉です。

では、「ハコ」はどうでしょう。箱を「ハコ」と表記することは一般的ではありませんから、ここには筆者の意図があるはず

です。普通、「箱」は「紙や木などで作られた容器」を指します。しかし、この文章では「ハコ」と表記することで、「箱」の持つ具体性(=どんな素材で、どんな大きさで…)を消し、「何かを入れる物」という抽象的な面を強調しているのです。筆者は、住宅を「暮らしを入れる物」と捉え、住宅の比喻として「ハコ」を使っています。

このように、普段、ひらがなや漢字で書かれる言葉がカタカナになっていたら、筆者の特別な意図が込められていることが多いので、注意して読みましょ



3) 下線部の意味を問う

◆「 とは、どういうことか」「 とはどういう意味か」「 が意味していることは何か」といった問題である。次の手順で考えていこう。

- ・「下線部」を含む文をよく見る。
- ・その文の前後を見て、「下線部」の「言い換え」を探す。
- ・「下線部」に指示語があれば、「指示語が何を指しているか」必ず見る。

→ 1) 指示語を問う p.32, 34

★ 例題8 問いに対する答えとして最もよいものを一つ選びなさい。

身近なもの、基本的なもののほど語源がたどれない。木の名前で考えてみよう――

- マツ 松
- スギ 杉
- クス 楠 (中略)

マツをなぜマツと呼んだのか。それぞれ日本語としての音の由来には説明がないのだ。いつも寝ているから「寝る子」からネコになった、という類の民間語源説があるけれど、猫の属性は寝るだけではない。他を排してその点にばかり注目した理由は何か。

基本語彙の語源は本当は問うてはいけないのかもしれない。地面の高いところがヤマと呼ばれ、常に水が流れるところがカワと呼ばれることの理由を聞いてはいけない。日本語の起源に遡って、例えばタミル語であるなどと説を立てても、それで語源が明らかになるわけではない。①問いはただそちらへ持ち越されるだけだ。

(池澤夏樹『風神帖』みすず書房)

【問い】 ①問いはただそちらへ持ち越されるとはどういうことか。

- 1 タミル語での語源は何かについて、新たに考えることになる。
- 2 語源は何かについて、この文章の読者が新たに考えることになる。
- 3 日本語の起源は本当にタミル語なのかという問題を考えることになる。
- 4 日本語の起源に遡れば語源がわかるのかという問題を考えることになる。

ステップ1 本文を読んで全体をつかもう

キーワード：身近、語源、基本語彙、理由、説

「疑問提示文」に注目する

「マツをなぜマツと呼んだのか。」「他を排して…理由は何か。」

→ テーマは、身近な語彙の語源？ その語をそう呼ぶ理由？

ステップ2 問いを見て本文から答えを探そう

1) 「下線部」を含む文をよく見る

①問いはただそちらへ持ち越されるだけだ。

持ち越す＝解決できないまま、次に送る

「問い」とは、どんな問いか。「そちら」とはどこか。

2) 「問い」と「そちら」が何を指すか、さかのぼって探す

基本語彙の語源は本当は問うてはいけないのかもしれない。

地面の高いところがヤマと呼ばれ…の理由を聞いてはいけない。

日本語の起源に遡って、例えばタミル語であるなどと説を立てても…

①問いは、… (そちら) (=タミル語の側) へ持ち越されるだけだ。

((こちら) =日本語の側)

「問い」＝基本語彙の語源は何か 「そちら」＝タミル語の側

つまり「ある日本語の言葉の語源をタミル語だと決めたとしても、今度はタミル語で同じ問い (=その語源は何か) を考えることになる」だけで答えは出ない、ということ。

ステップ3 選択肢と比べよう

1: 正解

2: 読者が「問い」を考えると書かれていない。

3: 「問い」の指す内容は、日本語の起源がタミル語かどうか、ではない。

4: 「問い」の指す内容は、日本語の起源に遡れば語源がわかるか、ではない。

下線部の意味を問う

練習26 問いに対する答えとして最もよいものを一つ選びなさい。

最近私が腹が立ったのは、小中学校の国語の教科書に対してだ。中学校の教科書から漱石・鷗外^(注1)が消えたのはニュースになった。しかし、それ以前から小中の国語の教科書は質量ともに薄かった。驚くほど幼稚な文章ばかりだ。世界の文学や批評は皆無に近く、グローバル化に逆行している。

これでは、硬くて栄養のある言葉から栄養を吸収するだけの強いアゴと腸が鍛えられない。ファーストフードのような柔らかいものばかりでアゴが弱くなってきているが、言葉を噛み締めるアゴの力も弱められている。国語教科書が①ハンバーガーになってしまっているのだ。

文章はすべての意味がわからなくてもいい。幼児にモーツァルトを聴かせるように、子どもに総ルビ^(注2)で最高の日本語をはじめから与えるべきだ。暗誦^(注3)や素読^(注4)の文化が培った感性は、生涯にわたって生きる。「満足できるわからなさ」には味がある。

(齋藤孝「「するめ」をかみしめよう」『ああ、腹立つ』新潮社)

(注1) 漱石・鷗外：夏目漱石、森鷗外。明治・大正期に活躍した日本を代表する小説家

(注2) 総ルビ：漢字全部にふりがなをつけること

(注3) 暗誦：文章を記憶して、それを口に出して言うこと

(注4) 素読：文章の意味を考えずに、声を出して文字だけを読むこと

問い ①ハンバーガーになってしまっているとはどういう意味か。

- 1 アメリカ文化の強い影響を受けて、日本の古典文学を載せなくなっている。
- 2 子どもが書いた文章ばかり載せるので、読んでも全く勉強にならない。
- 3 世界の文学や批評を載せなくなっていて、グローバル化に逆行している。
- 4 わかりやすい文章ばかり載せるので、読む力をつけられなくなっている。

下線部の意味を問う

練習27 問いに対する答えとして最もよいものを一つ選びなさい。

いまの日本社会では、万一事故が起こったときに、管理者が徹底的に責められる風潮がありません。その意味では、安全対策が「危険の管理」ではなく「危険の排除」の方向になってしまうのは自然の流れかもしれません。

本当に管理がいい加減である場合は責められても仕方がないと思いますが、被害者自身が禁止行為や予想外の行動をしていたり、原因が想定外ないし未知の問題であったりするときなどは①違います。こういうケースでは、設計者や管理者が失敗の経験を生かし、危険を制御する方向で安全対策を見直すことが社会の利益にもなります。

(畑村洋太郎『危険不可視社会』講談社)

問い ①違いますとはどういう意味か。

- 1 管理者を責めてはいけない
- 2 被害者を責めてはいけない
- 3 危険を排除できない
- 4 危険を管理できない

下線部の意味を問う

練習28 問いに対する答えとして最もよいものを一つ選びなさい。

どんなささいなことがらについてでも、それを愛し、そのことについて調べたり、試したりしている一群の人々が必ずいる。そのような人々は通常、地球上の各地に散在してそれぞれ日々の暮らしを送ってはいるのだが、やはりそのことについてのこまごました情報やささやかな発見を、ときに交換したりひかえめに自慢したくなるものである。そこで人々は、ウェブが発達するずっと以前から、^{グレイブヴァイン}様々な方法によってお互いの存在を知り、定期的に集うことを約束しあった。人々は、そのことが好きで、ずっと好きであり続け、そして①小さな縦穴を深く掘り続けている、という点だけを共有している。

(福岡伸一『世界は分けてもわからない』講談社)

問い ①小さな縦穴を深く掘り続けているとはどのような意味か。

- 1 広い世界の中にほんの少しだけいる仲間をさまざまな方法で探し続けている。
- 2 自分が愛しているささいなことがらについて、詳しく調べ続けている。
- 3 同じ物が好きな人々だけの狭い世界で、持っている情報を交換し続けている。
- 4 地下に埋まっている古い物を探すために、小さな穴をずっと掘り続けている。

下線部の意味を問う

練習29 問いに対する答えとして最もよいものを一つ選びなさい。

以前、「〇×モードの言語中枢」と題した文章を書いたことがある。日本人が欧米人に較べて、情報を非論理的に羅列する傾向が強いこと。同時通訳をしていると、スピーカーの①脳のモード差がモロに体感できること。それは、学校教育において、欧米では口頭試問と論文という能動的な知識の試し方を多用するのに対して、日本では〇×式と選択式という受け身の知識の試し方が圧倒的に多いせいではないか、という愚見^(注1)を披露した。(中略)

先ほど、同時通訳をしていると、スピーカーの脳のモード差がモロに体感できると述べたが、それは切実極まる問題だからだ。通訳者は、スピーカーの発言を訳し終えるまでは記憶していなければならない。ところが、論理的な文章はかなり嵩張った^(注2)としてもスルスルと容易に覚えられるのに、羅列的な文章には記憶力が拒絶反応を起こすのだ。

要するに、論理性は、記憶の負担を軽減する役割を果たしているわけで、文字依存度が高い日本人に較べて、それが低い西欧人の言語中枢の方が論理的にならざるを得ないのではないだろうか。

(米原万里『心臓に毛が生えている理由』角川学芸出版)

(注1) 愚見：自分の意見(謙譲語として使われる)

(注2) 嵩張った：量が多い

問い ①脳のモード差とは何を指すか。

- 1 欧米では能動的な知識を試すのに対し、日本では受け身の知識を試すという差
- 2 欧米人は論理的に話すのに対し、日本人は情報を非論理的に羅列するという差
- 3 論理的な文章は長くても覚えやすいのに対し、羅列的な文章は覚えにくいという差
- 4 通訳者は発言を記憶する必要があるのに対し、スピーカーにはその必要がないという差

下線部の意味を問う

練習30 問いに対する答えとして最もよいものを一つ選びなさい。

学生時代に末弘(厳太郎)先生から民法の講義をきいたとき「時効(注1)」という制度について次のように説明されたのを覚えています。金を借りて催促されないのをいいことにして、ネコババ(注2)をきめこむ不心得者がトクをして、気の弱い善人の貸し手が結局損をするという結果になるのはずいぶん不人情な話のように思われるけれども、この規定の根拠には、権利の上に長くねむっている者は民法の保護に値しないという趣旨も含まれている、というお話だったのです。この説明に私はなるほどと思うと同時に「①権利の上にねむる者」という言葉が妙に強く印象に残りました。いま考えてみると、請求する行為によって時効を中断しない限り、たんに自分は債権者であるという位置に安住していると、ついには債権(注3)を喪失するというロジックのなかには、一民法の法理にとどまらないきわめて重大な意味がひそんでいるように思われます。

(丸山真男『日本の思想』岩波書店)

(注1)時効：一定の期間が過ぎたために、権利を失うこと

(注2)ネコババ：拾った物などをそのまま自分の物にしてしまうこと

(注3)債権：貸したお金や財産を返してもらう権利

問い ①権利の上にねむる者とはだれか。

- 1 催促されなければ、そのまま返さない借り手
- 2 ネコババをきめこむ不心得者
- 3 時効という制度を知らない債権者
- 4 金を返すように催促することを怠る貸し手

下線部の意味を問う

練習31 問いに対する答えとして最もよいものを一つ選びなさい。

音声言語の発達によって、人間の社会はゆるぎない(注1)ものとなったといった。しかしこれは、人間の社会をゆるぎないものにするために、音声言語が発達したという意味ではない。社会は結果であり、目的ではなかった。

一般に動物の構造や機能は、まことによく環境に適応しているとおもわれる点もあるが、逆に、どうしてこんな変なことになっているのだろうか、ふしぎにおもわれる点もたくさんある。動物というものは、目的論的にすべて説明できるわけではない。人間についてもおなじことがいえる。それはただ、ながい進化の歴史的結果であるというだけのことである。はるかな過去からの遺産をうけついで、そのうえで多少の変化をかさねつつ、現在が存在するのである。

感覚器官、脳神経系(注2)の発達にしても、①おなじかんがえかたができるであろう。これはなんらかの目的があつてのことではない。人間は、かしこくになりたいと努力したために、脳がおおきくなったのではない。脳がおおきくなったために、かしこくなったのである。なにが原因で脳がおおきくなったのか。その点については確定的なことはいえない。

(梅棹忠夫『情報の文明学』中央公論新社)

(注1)ゆるぎない：安定している

(注2)脳神経系：情報を頭(脳)に伝えたり、脳から体に伝えたりする神経の系統

問い ①おなじかんがえかたができるの意味として、最も適切なものはどれか。

- 1 なんらかの目的に到達しようとした結果であると考えられる。
- 2 環境への適応を目的として発達してきたのだと考えられる。
- 3 現在のような形になろうと目指して進化してきたわけではないと考えられる。
- 4 現在のような形になるまでには、長い時間が必要だったと考えられる。